

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月12日

上場取引所 東大

上場会社名 駒井鉄工株式会社

コード番号 5915 URL <http://www.komai.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 須賀 安生

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員

(氏名) 佐々木裕之

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日

TEL 03-3833-5101

平成21年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	21,295	10.1	△160	—	△259	—	△266	—
21年3月期第2四半期	19,348	—	△892	—	△828	—	△871	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△7.53	—
21年3月期第2四半期	△24.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	55,679	24,370	43.8	688.51
21年3月期	63,445	24,701	38.9	697.77

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 24,370百万円 21年3月期 24,701百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
22年3月期	—	2.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	2.00	4.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,900	△22.7	190	△71.0	30	△95.6	10	△97.2	0.28

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	36,432,711株	21年3月期	36,432,711株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	1,036,093株	21年3月期	1,031,717株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	35,398,844株	21年3月期第2四半期	35,705,571株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気の低迷に対する政府の刺激策や一部新興国の需要増により関連業種に回復の兆しが見られたものの、設備投資の低迷や雇用情勢の悪化など依然として先行の不透明感が続きました。

橋梁・鉄骨業界におきましては、橋梁は、本年4月に発表された追加経済対策による事業の前倒し政策により、国土交通省をはじめとして、当第2四半期に今年度発注予定物件の大半が集中的に発注されましたが、その後政権交代による事業の見直しや執行停止もあり、厳しい状況で推移いたしました。

鉄骨は、景気の低迷により設備投資等に回復の兆しが見えず、引き続き地方都市圏を中心に厳しい状況が続きました。

このような環境のなか、当第2四半期連結累計期間の受注高は、総額134億2千7百万円（前年同四半期比55.0%減）となりました。売上高は、工事完成基準適用の一部大型鉄骨工事の完成が下期に伸びたものの212億9千5百万円（同10.1%増）を確保いたしました。損益につきましては、一部大型鉄骨工事に採算悪化が見込まれることで工事損失引当金を積み増したことや、受注工事の進捗の遅れなどにより、遺憾ながら営業損失1億6千万円（前年同四半期は8億9千2百万円の損失）、経常損失2億5千9百万円（同8億2千8百万円の損失）、四半期純損失2億6千6百万円（同8億7千1百万円の損失）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

— 鉄構製品事業 —

(1) 橋梁

当第2四半期連結累計期間の受注高は、収益確保を最優先に積極的な応札を行いました、9億1千2百万円（前年同四半期比80.4%減）にとどまりました。

完成工事高は、山口県・嘉川I C高架橋他の工事で55億5千9百万円（同103.3%増）となり、これにより受注残高は101億8千8百万円（同46.7%減）となっております。

(2) 鉄骨・その他

当第2四半期連結累計期間の受注高は、採算重視を基本とした選別受注を進めた結果、125億1千5百万円（前年同四半期比50.3%減）となりました。

完成工事高は、平河町2丁目計画他の工事で155億6千9百万円（同5.3%減）となり、これにより受注残高は236億8千6百万円（同47.4%減）となっております。

— 不動産事業 —

大阪市西淀川区にある大阪事業所の未利用地部分について賃貸による有効活用を行っております。当第2四半期連結累計期間の不動産事業売上高は1億6千6百万円（前年同四半期比1.7%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は前連結会計年度末より77億6千5百万円減少し556億7千9百万円となりました。

資産の部では、手持工事の未成工事支出金が31億2千9百万円、完成工事未収入金が21億8千6百万円それぞれ減少したことなどにより流動資産が75億4千8百万円減少し334億3千6百万円となりました。固定資産は2億1千7百万円減少し222億4千2百万円となりました。

負債の部では、支払手形が31億8千6百万円、工事未払金が41億2千3百万円それぞれ減少したことなどにより流動負債が88億3千2百万円減少し256億9千5百万円となりました。固定負債は13億9千7百万円増加し56億1千2百万円となり、負債合計は313億8百万円となりました。

純資産の部では、利益剰余金が3億4千1百万円減少したことなどにより純資産は3億3千万円減少し243億7千万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、平成21年11月9日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックスプランニングを利用する方法によっております。

(特有の会計処理)

原価差異の繰延処理

操業度等の変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産として繰り延べております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	2,551	3,056
受取手形・完成工事未収入金	15,706	18,762
未成工事支出金等	9,553	12,675
その他	5,635	6,507
貸倒引当金	△10	△17
流動資産合計	33,436	40,985
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	5,133	5,268
機械・運搬具(純額)	1,365	1,426
土地	12,709	12,709
その他(純額)	164	171
有形固定資産計	19,371	19,574
無形固定資産	56	60
投資その他の資産		
投資有価証券	2,377	2,362
その他	473	498
貸倒引当金	△36	△36
投資その他の資産計	2,815	2,824
固定資産合計	22,242	22,459
資産合計	55,679	63,445
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	9,674	16,984
短期借入金	6,837	6,624
未成工事受入金	7,477	7,905
工事損失引当金	671	745
引当金	134	91
その他	901	2,177
流動負債合計	25,695	34,528
固定負債		
長期借入金	2,385	1,080
繰延税金負債	1,960	1,861
退職給付引当金	1,037	1,022
引当金	10	8
その他	219	241
固定負債合計	5,612	4,215
負債合計	31,308	38,743

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,619	6,619
資本剰余金	6,273	6,270
利益剰余金	11,191	11,532
自己株式	△293	△292
株主資本合計	23,792	24,130
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	572	564
為替換算調整勘定	5	6
評価・換算差額等合計	578	570
純資産合計	24,370	24,701
負債純資産合計	55,679	63,445

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
完成工事高	19,348	21,295
完成工事原価	19,054	20,334
完成工事総利益	293	960
販売費及び一般管理費	1,186	1,121
営業損失(△)	△892	△160
営業外収益		
受取配当金	30	19
受取保険金	14	—
受取家賃	15	16
材料屑売却益	46	24
雑収入	31	9
営業外収益合計	139	69
営業外費用		
支払利息	68	93
支払手数料	—	68
雑支出	6	7
営業外費用合計	75	168
経常損失(△)	△828	△259
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	6
その他	—	0
特別利益合計	—	7
特別損失		
固定資産除売却損	6	8
会員権評価損	7	—
独占禁止法関連損失	15	—
その他	—	2
特別損失合計	28	10
税金等調整前四半期純損失(△)	△857	△263
法人税、住民税及び事業税	11	13
法人税等調整額	2	△9
法人税等合計	14	3
四半期純損失(△)	△871	△266

【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
完成工事高	18,032	9,192
完成工事原価	17,693	8,807
完成工事総利益	339	385
販売費及び一般管理費	585	555
営業損失(△)	△246	△169
営業外収益		
受取配当金	2	0
受取保険金	14	—
受取家賃	8	8
材料屑売却益	14	19
雑収入	22	3
営業外収益合計	63	31
営業外費用		
支払利息	34	48
支払手数料	—	66
雑支出	3	5
営業外費用合計	38	120
経常損失(△)	△221	△258
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	1
その他	—	0
特別利益合計	—	2
特別損失		
固定資産除売却損	1	2
投資有価証券評価損	—	1
会員権評価損	7	—
独占禁止法関連損失	15	—
特別損失合計	23	4
税金等調整前四半期純損失(△)	△245	△261
法人税、住民税及び事業税	5	△11
法人税等調整額	17	5
法人税等合計	23	△6
四半期純損失(△)	△268	△255

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

【受注及び販売の状況】

(1)受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(百万円未満切捨て)

項目	前年同四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期 連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)		前連結会計年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)		
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
受注高	橋梁	4,654	15.6	912	6.8	10,418	22.1
	鉄骨・その他	25,191	84.4	12,515	93.2	36,699	77.9
	合計	29,846	100.0	13,427	100.0	47,117	100.0

項目	前年同四半期 連結累計期間 (平成20年9月30日現在)		当第2四半期 連結累計期間 (平成21年9月30日現在)		前連結会計年度 (平成21年3月31日現在)		
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
受注残高	橋梁	19,106	29.8	10,188	30.1	14,835	35.7
	鉄骨・その他	45,057	70.2	23,686	69.9	26,740	64.3
	合計	64,163	100.0	33,874	100.0	41,575	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2)販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(百万円未満切捨て)

項目	前年同四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期 連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)		前連結会計年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)		
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
鉄構製品事業	橋梁	2,735	14.1	5,559	26.1	12,770	21.5
	鉄骨・その他	16,443	85.0	15,569	73.1	46,267	77.9
	計	19,178	99.1	21,128	99.2	59,038	99.4
不動産事業	169	0.9	166	0.8	339	0.6	
合計	19,348	100.0	21,295	100.0	59,377	100.0	

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。